

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただきます。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	倫理第 2604 号
研究課題	遠隔連携診療による足病変の重症化予防効果の検証
本研究の実施体制	研究代表者 松本 健吾(大分岡病院 形成外科) 当院の研究責任者 伊方 敏勝(熊本大学病院 形成外科) 共同研究機関の研究責任者 寺部 雄太(春日部中央総合病院 下肢救済センター) 共同研究機関の研究責任者 東盛 貴光(ハートライフ病院 形成外科)
本研究の目的及び意義	糖尿病または慢性腎不全による透析療養の患者さんは足病変が生じやすく、重症化しやすいといわれています。外来通院中の足病変患者さんに対して遠隔診療相談を行うことで、足病変の診断及び重症化予防に有用であるかについて調査します。
研究の方法	●対象となる患者さん 糖尿病または慢性腎不全による透析療養で外来通院中の足病変患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録（既往歴、創傷治療経過等）を利用します。
研究期間	2022 年 11 月 08 日から 2022 年 12 月末
試料・情報の取得期間	2022 年 11 月 08 日から 2022 年 12 月末
研究に利用する試料・情報	情報については、診療録から既往歴、足病変治療経過、入院期間等を研究代表者に郵送または電子メールにて提供します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表され

る予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

利益相反について

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

本研究参加へのお断りの申し出について

研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利な扱いを受けることはありません。

本研究に関する問い合わせ

電話：096-344-2111（代表）

担当者：伊方 敏勝(熊本大学病院 形成外科)